

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1050	(H.26)No.	1050
-----------	------	-----------	------

事務事業名	意思疎通支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	福永 ひとみ	

会計区分	事業コード	172002
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	民生費	地域生活支援事業
項	社会福祉費	(小事業名)
目	障害者自立支援費	意思疎通支援事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	1	社会参加と交流・啓発の促進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	聴覚障害者の日常生活の便宜と社会参加促進が図れる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者の市役所窓口への配置並びに派遣 ・手話通訳・要約筆記の研修、養成講座の開催

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	手話通訳者・要約筆記者派遣: 手話48件、要約筆記7件 手話奉仕員養成講座事業委託(伊賀市・名張市共同開催分) (平成26年度事務事業名:コミュニケーション支援事業)	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回	手話通訳者・要約筆記者派遣:200時間 手話奉仕員養成講座:10回

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	955千円	1,317千円	1,317千円	1,317千円	1,317千円
内訳(千円)					
国・県支出金	403	407	407	407	407
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 552	910	910	910	910
人工数					
職員	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人	0.06人
臨時職員等	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
②概算人件費	(0千円) 1,130千円	1,130千円	1,130千円	1,130千円	1,130千円
①+②総事業費	(0千円) 2,085千円	2,447千円	2,447千円	2,447千円	2,447千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
障害者に対する住民の理解については、順調に伸びており、手話通訳奉仕員養成講座や要約筆記体験会への受講者数も伸びてきている。	引き続き、事業を推進し、一人でも多くの市民の理解が得られるよう努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	手話通訳奉仕員養成講座の開催。 要約筆記体験会の開催。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	すずらん台、箕曲、青蓮寺・百合が丘、桔梗が丘、つつじが丘の地域づくりとの連携・協働を検討。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市障害者福祉計画、名張市障害福祉計画
当事業にて、聴覚障害者のコミュニケーションの手段が確保でき、自立及び社会参加を促進できている。	